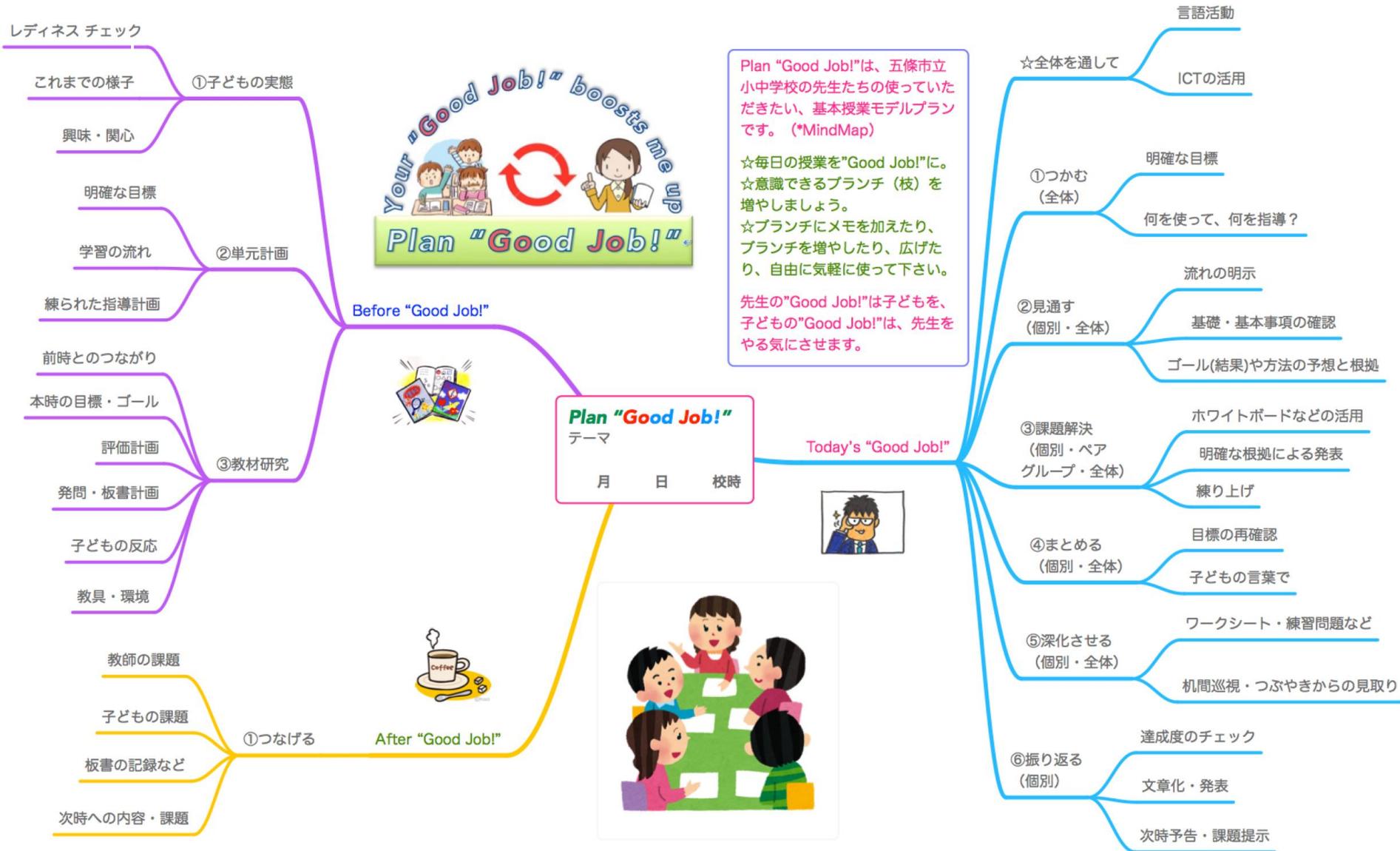


Lesson Plan Basic Format



授業モデルについて

五條市教育委員会

子どもたちが「わかった!」「楽しい!」と感じる魅力ある授業を展開することは、私たち教員にとって日頃から意識していかねばならない重要な責務です。
 このたび、五條市教育委員会では、下の表の通り『授業モデルの例』を示し、日常の授業の中に取り入れ、実践されることを提案いたします。もとより、教科の特性や授業の流れ等によりモデル通りに進められない場合もありますので、頭の中に留めて授業を展開されることで、新しい展開や気づきにつながることもあります。
 毎日の堅実な授業の積み上げが、子どもたちの学力向上と、先生方自身の授業力向上に寄与していくと信じて、地道な取組を進めて参りたいと思います。

授業モデル(例)

過程	流れ等	学習形態	ポイント
前時まで	① 児童生徒の実態把握		<ul style="list-style-type: none"> ・レディネスチェック(準備状況の把握) ・前時までの授業の様子 ・興味、関心度の把握
	② 単元の目標に応じた計画		<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標の明確化 ・単元の学習の流れの明示 ・教科書で示されている指導計画と本校、教科独自の指導計画のすりあわせ
	③ 教材研究		<ul style="list-style-type: none"> ・前時とのつながりの確認 ・本時の目標の設定 ・ゴールを考えた授業設定 ・評価計画の作成 ・発問計画と板書計画の作成 ・予想される児童生徒の反応 ・用具、具休物の準備、教室等の環境整備
本時	① めあてをつかむ	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を明確に提示 ・「何をやって」「何を指導するのか」の明確化
	② 見通す	個別 ↓ 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れの明示 ・基礎的、基本的事項の確認 ・ゴール(結果)や方法の予想 (生活経験や既習事項・既有的知識など根拠を明確にする。)
	③ 課題解決をする。	個別 ↓ ペア ↓ グループ ↓ 個別	<ul style="list-style-type: none"> ・個人による課題解決(絵や図・言葉を使っての記入) ・ペア、グループ、教え合いなどの学習 ・ホワイトボード等の活用 ・根拠を明確にした発表 (実験、観察、紹介、レポート、記録、報告、説明、紹介、要約、論述、討論などの形をイメージする。) ・より良い意見への練り上げ
	④ まとめる	個別 ↓ 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標の再確認 ・学習内容を児童・生徒の言葉でまとめる。
	⑤ 理解を深化させる	個別 ↓ 全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、練習問題などの活用 ・机間指導等でつぶやきや理解の程度を把握
	⑥ 振り返る	個別	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標が達成できたかどうかの確認 ・児童生徒の自己評価 (「分かったこと」や「気づいたこと」の文章化や発表) ・次時の予告や課題の提示
次時へ	○ つなげる		<ul style="list-style-type: none"> ・授業後の教師の振り返り 「教師にとっての課題はあったか」 「児童生徒にとっての課題はあったか」 ・板書の記録など ・次時へ送った内容や課題の点検

ICTの活用
言語活動を取り入れる

授業で心がけたいポイント

- ★授業の初めに「めあて」や「ねらい」、終わりに「振り返り」の時間を作りましょう。
- ★比較や分類など様々な手法を用いて、子どもたちが学習課題を見つけ意欲的にその課題解決に取り組めるよう工夫しましょう。
- ★子どもたちが主体的に学び会える機会を設けましょう。
- ★様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問ができるよう授業を組み立てましょう。
- ★授業の中で、自分の考えを周りの人に説明したり発表したりする活動を取り入れましょう。
- ★自分の考えなどが分かりやすく文章に書けるよう指導しましょう。
- ★授業実施後に授業内容や流れが分かるような板書を心がけましょう。

GOOD JOB!



学校と家庭を繋ぐ

家庭教育の手引き

家庭を学びの「宝石箱」に

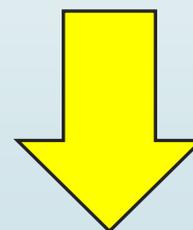
～自立と共生をめざして～



御所市教育委員会

家庭での学習方法等を具体例を挙げて指導する。

家庭学習の課題の与え方を教員で共通理解を図る。



各学校も独自の手引きを作成

3. 学力向上実践研究推進地区及び協力校の取組から

学校名 五條市立牧野小学校

U R L <http://www.gojo-nar.ed.jp/makisho/>

「自分の考えを主体的に伝え合う力の育成」
～言語活動の充実を目指して～

【見通しマップ】



【子供たちの学び合い】



【並行読書の推進】



学校名 五條市立五條小学校

U R L www.gojo-nar.ed.jp/gosho/

「学習意欲の向上から学力向上へ」
～「分かった」「できた」喜びを味わえる算数科の授業実践を通して～

【授業パターンの確立】



【わくわく算数ランド】



【五夢りん学びの教室】



3. 学力向上実践研究推進地区及び協力校の取組から

学校名 御所市立葛城小学校
 URL kamonoyu@m5.kcn.ne.jp

「自ら学び、互いに伝え合い、受けとめ合える児童の育成」
 —「単元を貫く言語活動」の充実を目指して—

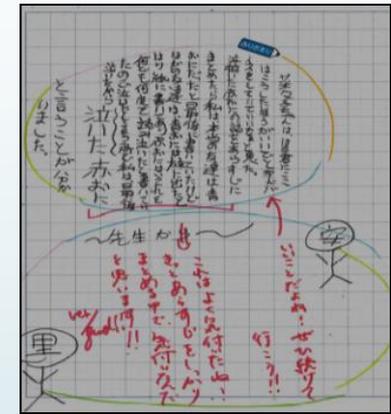
【チーム葛城】



【単元を貫く言語活動の充実】



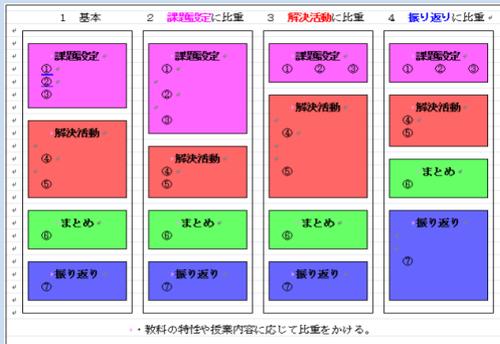
【めあての提示と振り返り】



学校名 御所市立 葛上中学校
 URL katsujo@m5.kcn.ne.jp

「単元を通した問題解決的な授業の在り方」

【問題解決的な授業の学習過程】



【グループ学習】



【形成テスト】

単元テストの.2.S 2年 1組 ()番 匿名 ()日 2015.12.15

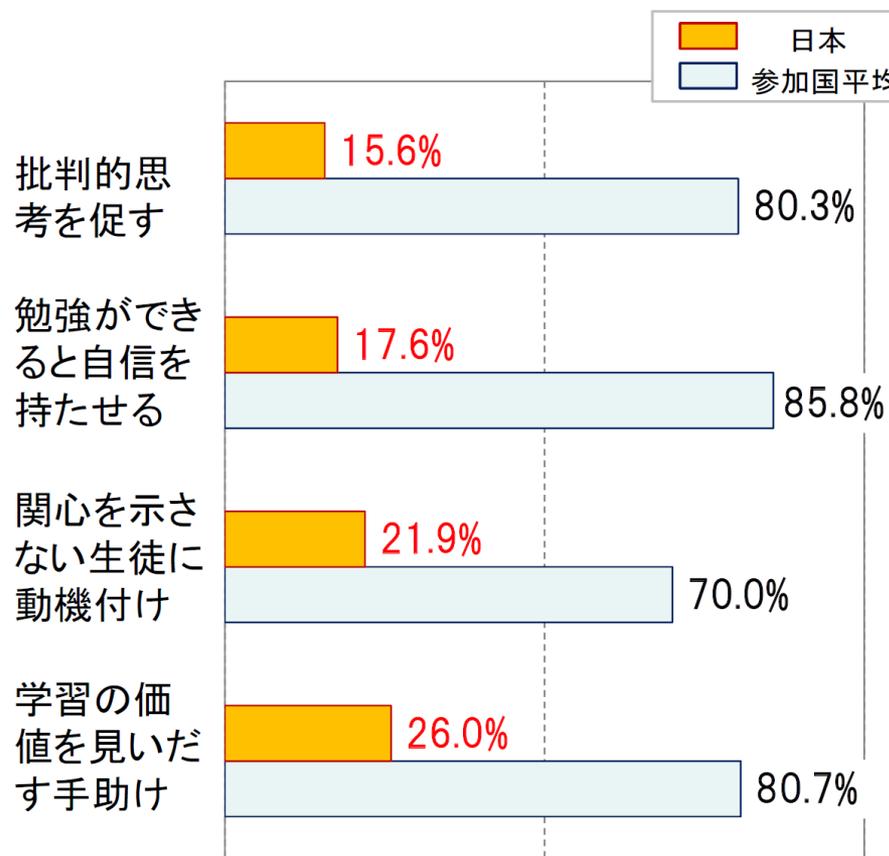
- 抵抗20Ωの電路に2Aの電流が流れたとき、加えた電圧は何Vか。回
- 抵抗50Ωの電路に5Vの電圧を加えたとき、流れる電流の大きさは何Aか。回
- ある電路に100Vの電圧を加え、4Aの電流が流れたとき、電路の抵抗は何Ωか。回
- 抵抗14Ωの電路に500mAの電流が流れたとき、加えた電圧は何Vか。回
- 抵抗15Ωの電路に6Vの電圧を加えたとき、流れる電流の大きさは何Aか。また、その値は何mAか。回
- ある電路に4.5Vの電圧を加え、300mAの電流が流れたとき、電路の抵抗は何Ωか。回
- 電路の電圧は何Vか。 8. 電流は何Aか。 9. 抵抗は何Ωか。回

1	V	6	Ω
2	A	7	V
3	Ω	8	A
4	V	9	Ω
5	A		
	mA		

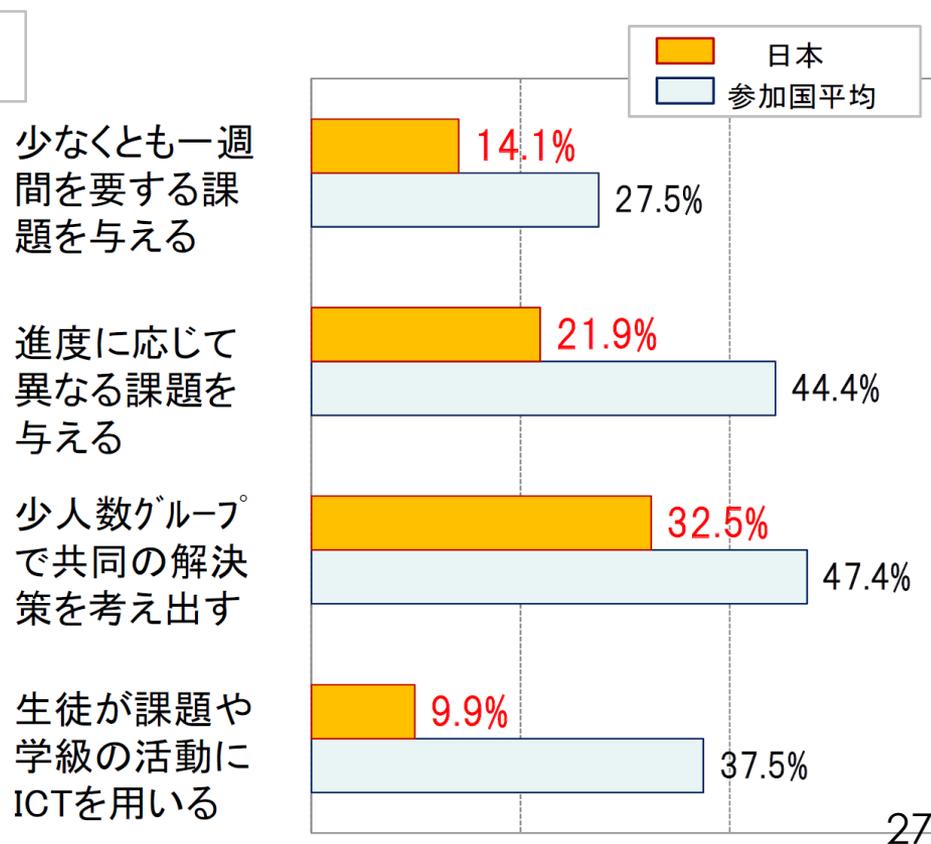
主体的な学びに関する問題 —OECD国際教員指導環境調査 (TALIS) から—

◆教員は主体的な学びを重要と考えている一方、主体的な学びを引き出すことに対する自信が低く、ICTの活用を含め多様な指導実践の実施割合は低い。

主体的な学びの引き出しに自信を持つ
教員の割合



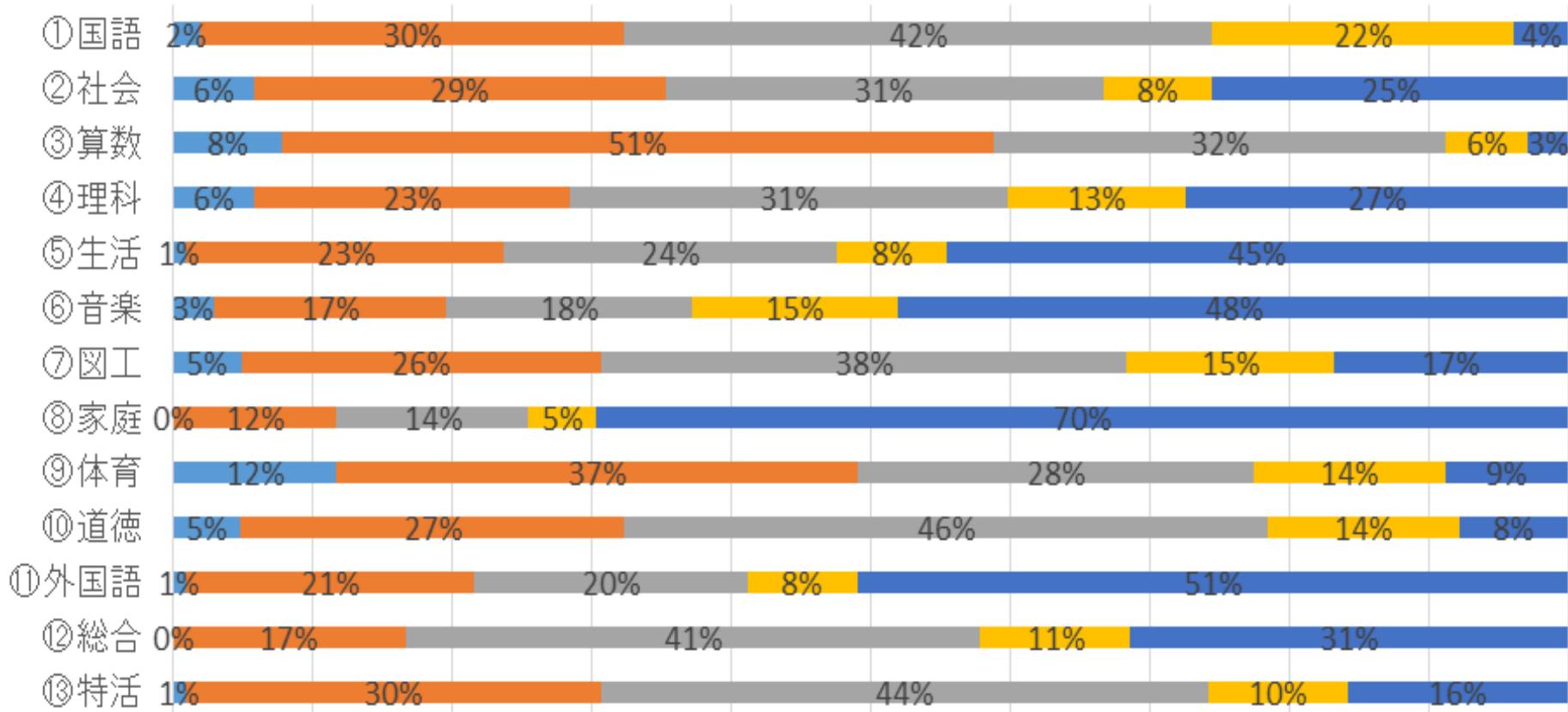
各指導実践を頻繁に行っている
教員の割合



(出典) OECD国際教員指導環境調査 (TALIS) 2013 結果概要

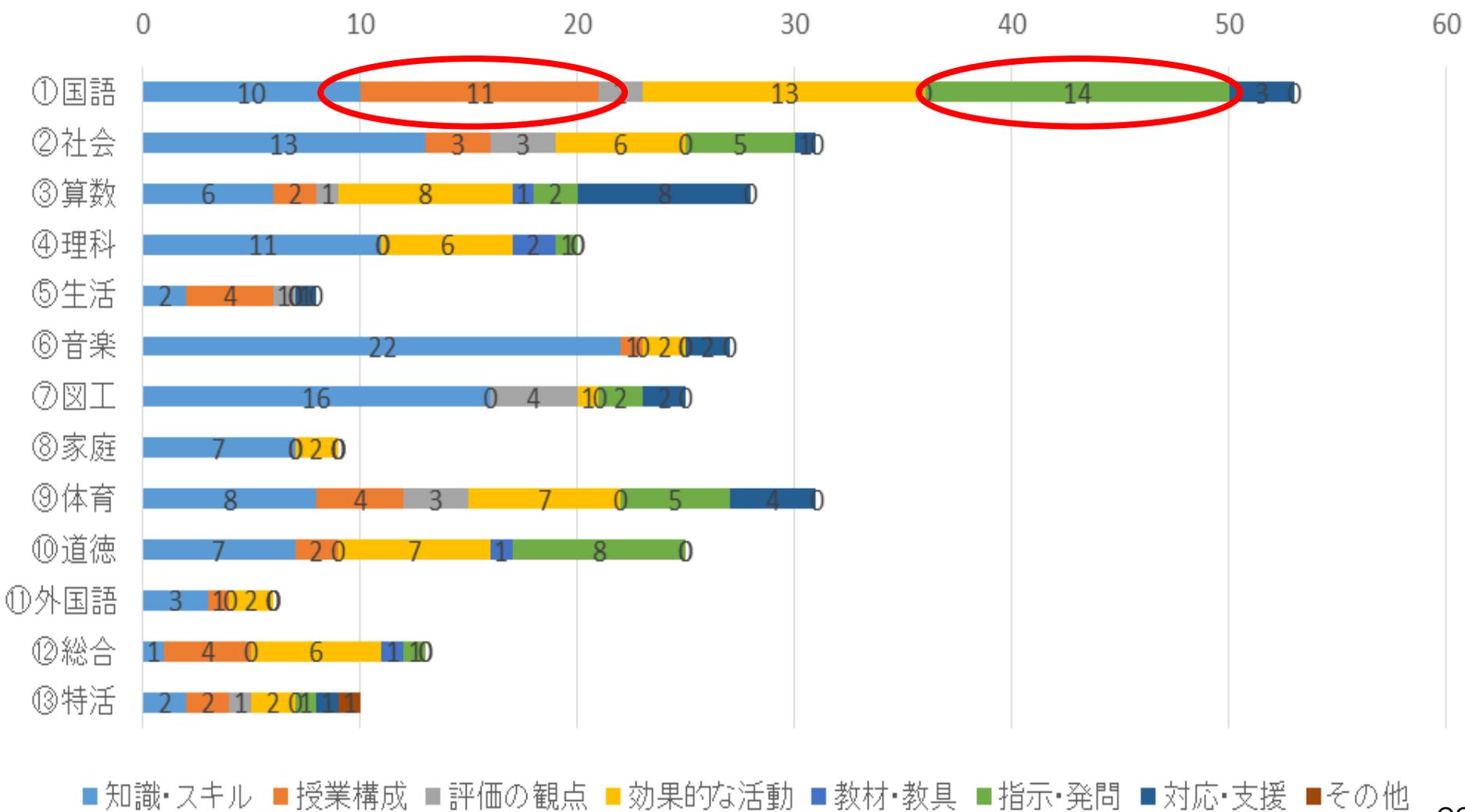
教科等指導の得意・苦手(初任者研修受講者)

0% 10% 20% **国語 64%** **道徳 60%** **特別活動 54%**

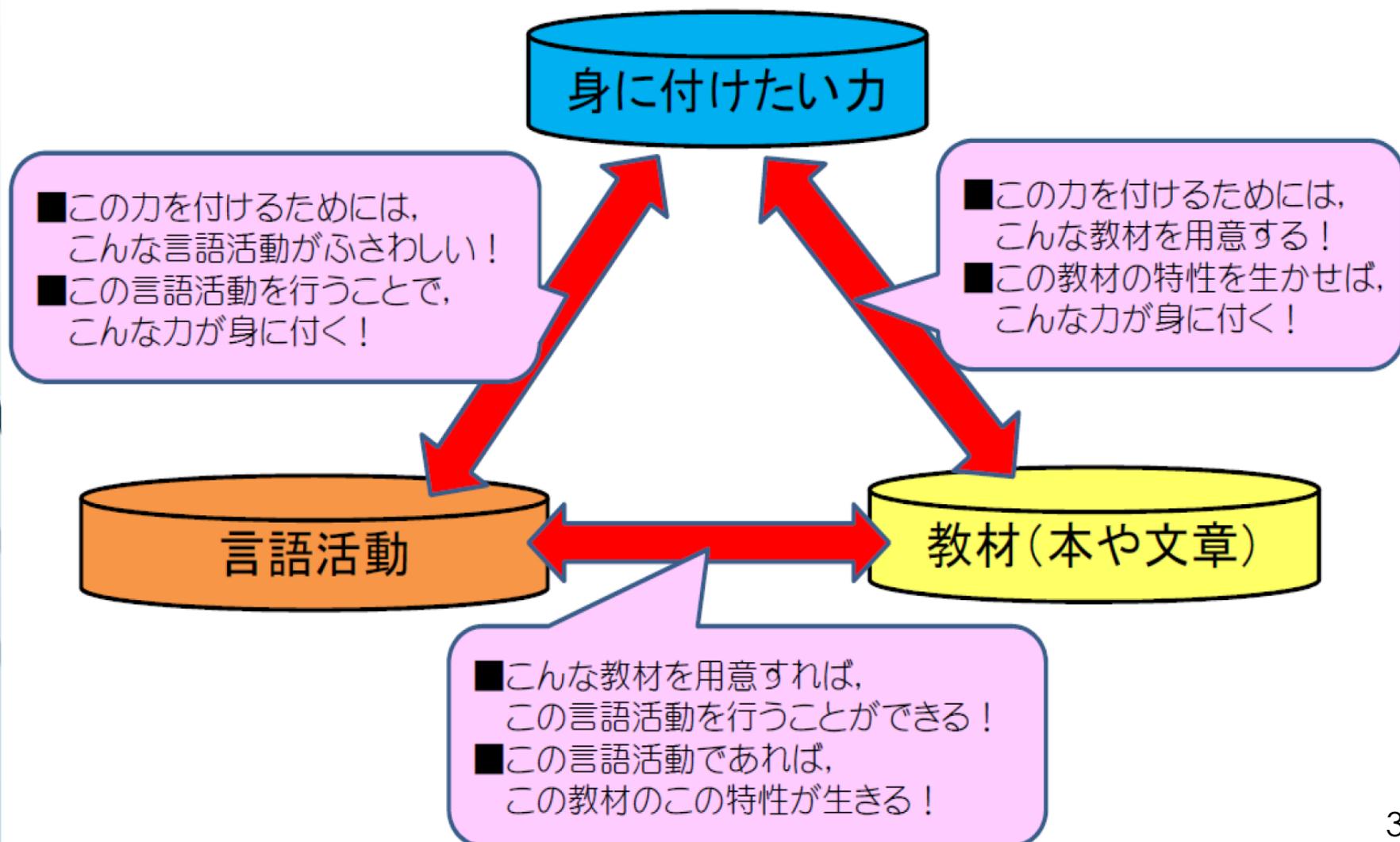


■得意 ■どちらかといえば得意 ■どちらかといえば苦手 ■苦手 ■指導したことがない

指導が難しい教科等とその理由(初任者研修受講者)



「読むこと」の単元を構想する上で不可欠な視点 ～三者の有機的な関連付け～



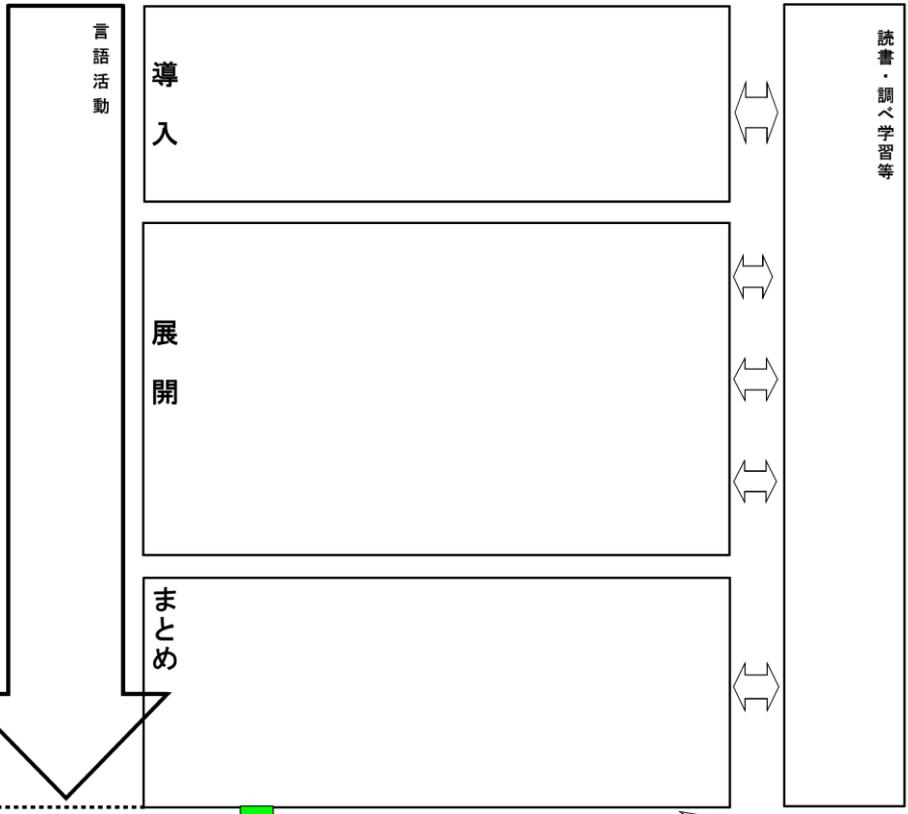
国語科における授業の在り方

国語科 単元構想シート

学年 _____ 教材名 _____

単元名 _____

○付けたい力に関わる児童の実態、実態に応じて続けてきたことなど



完成イメージ図
終末のラフスケッチ

付けたい力 (子どもの言葉で言うと…)

が、できるようになったよ。

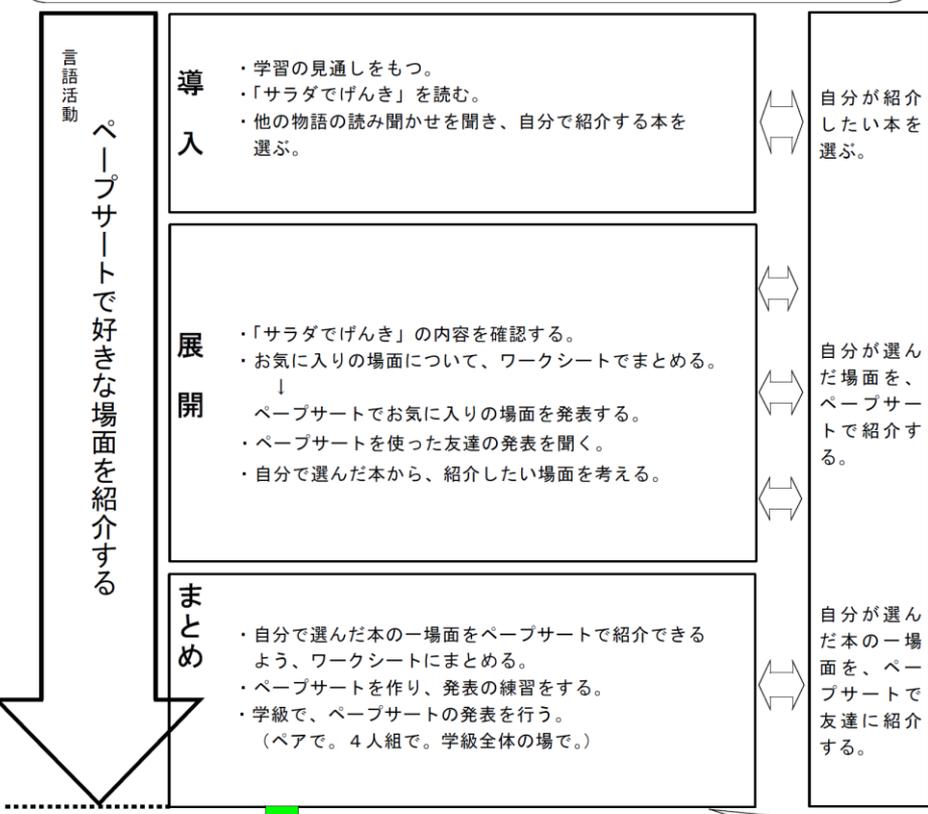
国語科 単元構想シート

学年 1 教材名 「サラダでげんき」

単元名 好きな場面をペープサートでしようかしよう

○付けたい力に関わる児童の実態、実態に応じて続けてきたことなど

文章を読むことは好きだが、登場人物の気持ちを考えて読んだり、気持ちの変化が行動に表れることについて考えることが苦手である。
(これまでの取組) 登場人物の気持ちを書くこと。言葉集め (気持ちを表す言葉)。



完成イメージ図
終末のラフスケッチ

白くまの気持ちが、ペープサートの動きで表現できた。

付けたい力 (子どもの言葉で言うと…)

登場人物が言ったことやしたことから想像を広げながら読むことが、できるようになったよ。

ねらいを達成した子どもの姿

授業構想
の流れ

本時の授
業の流れ

適用問題(評価問題)

授業構想
の流れ

本時の授
業の流れ

指導方法、指導形態
児童の反応を予想する。
→学級の実態の把握
I C T 機器の活用

授業構想
の流れ

まとめ

本時の授
業の流れ

問題、課題、めあて
問題
めあて

ねらいを達成した子どもの姿

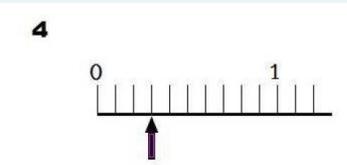
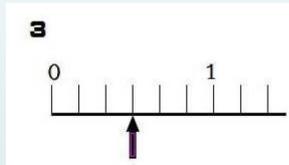
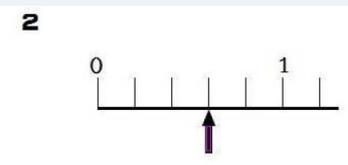
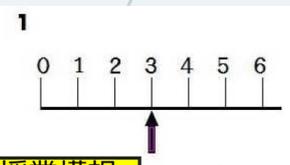
単位分数をもとにして、分数を正しく指し示した数直線を判断し、そのわけをよりよく説明している。

授業構想の流れ

本時の授業の流れ

適用問題(評価問題)

下の数直線で、↑のめもりが3/6を表しているのはどれですか。1つ選んでそのわけも書きましょう。



授業構想の流れ

本時の授業の流れ

ペア学習(自力解決、適用問題の後の2回)
児童の反応

- ・数直線の意味が分からない
- ・2を表してる↑と間違えている
- ・2/10を表している↑と間違えている

ICT機器の活用

- ・数直線を大きくモニターに映す

授業構想の流れ

まとめ
数直線に分数を表すには、1を何等分したかを考えるとよい。

本時の授業の流れ

問題、課題、めあて

問題 2/5を数直線上で表しているのはどれですか。

めあて 「数直線の上に表された分数を説明しよう！」

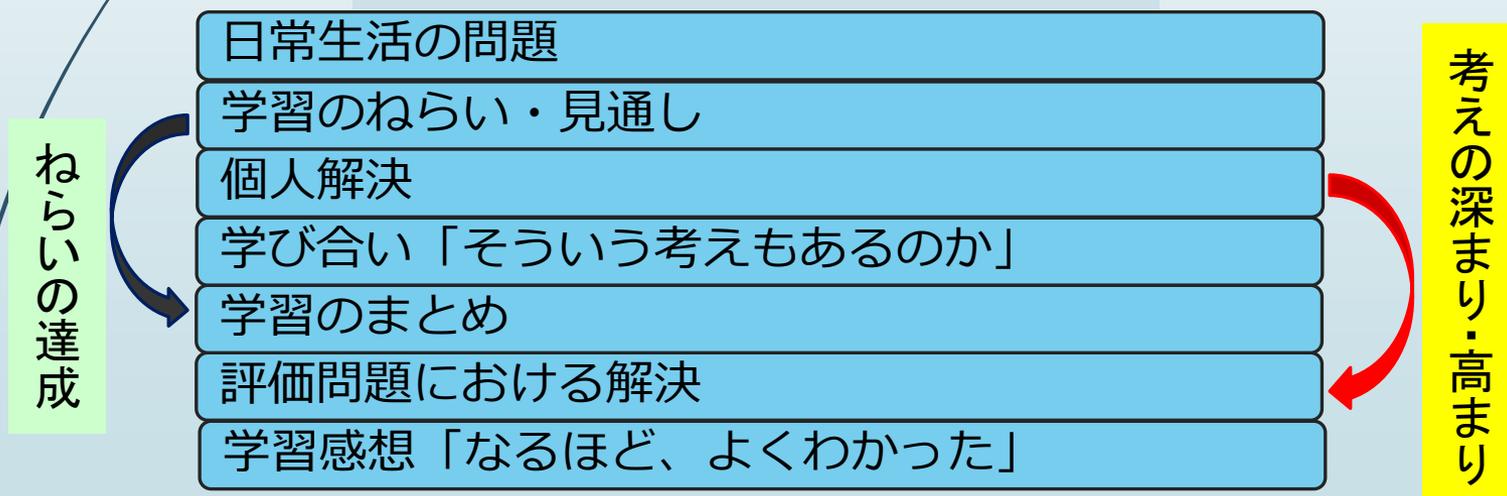
学習を振り返るとは

- ・ 学習のねらいに対して、学習のまとめをする。
- ・ 実際に似た問題を解いて、よりよく解けるようになったことを実感する。
- ・ 自分なりに大切だと思ったことを書き留めておく。

など

数学的な考え方を育てる授業

(子どもが考えを深めることができたかどうか)





意欲的に取り組む算数科の授業

子どもたちに学ぶ喜びを伝えるためには、教員自らが学び続ける姿勢をもつことが大切です。

「教えるプロ」であると同時に
「学び続けるプロ」でありたい